



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん(三重県)

THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆第2次稲本執行部発足

県歯常任委員会も一斉に初会合

◆郡市会長メッセージ&

令和7年度歯と口の健康週間事業レポート

◆第33回定時代議員会

◆令和7年度歯科衛生士研修会

◆令和7年度三重県警察医研修会



三 重 県 歯 科 医 師 会 報



公益社団法人
三重県歯科医師会
<https://www.dental-mie.or.jp/>

2025
89
No.735

三歯会報 CONTENTS 令和7年 8・9月号

会長就任にあたって（公益社団法人 三重県歯科医師会 会長 稲本良則）	1
第2次稲本執行部発足（第4回・第5回理事会）	2
郡市会長メッセージ&歯と口の健康週間事業レポート	4
令和7年度歯科衛生士研修会	16
第3回理事会 （医療費助成受給者証及び診察券のマイナカードへの一体化補助金）	18
第33回定時代議員会 （新役員選任／第2次稲本執行部が発足）	20
第6回理事会 （第2次稲本執行部始動）	24
県歯常任委員会も新体制で始動	26
令和7年度三重県警察歯科医会定期総会／三重県警察医研修会	30
6月・7月会務日誌	31
顧問の交代について	32
会員消息／新入会員プロフィール	33
告知板 （ ・中部歯内療法学会 第18回学術大会のご案内 ・愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部 2025年度秋季学術講演会 ）	35 36
互助会の現況	37
三重県歯国保組合&協同組合 NEWS	38
国保組合の現況	40
編集後記	41

会長就任にあたって

公益社団法人 三重県歯科医師会
会長 稲本良則



会長予備選挙から6月22日の代議員会及び理事会を経て、三重県歯科医師会会長に就任しました稲本でございます。2期目の会長就任にあたりご挨拶申し上げます。

前期では歯科衛生士確保総合支援事業、デジタルコンテンツ事業、女性歯科医師の会—の新規事業を立ち上げ、執行部一同真摯に取り組んでまいりました。今期はこれらの事業の充実に加えて、薬剤師会との連携である歯薬連携をスタートさせ、連携講習会の開催等の取組みを行っていきます。

近年は通院困難な方への在宅歯科診療の提供、入院患者への手術前後の口腔ケア、認知症患者への対応など、歯科に対するニーズは多様化しております。これらに対応するためには多職種との連携は不可欠で、医師会、薬剤師会等の団体、県行政、市町、関係機関と連携を図りながら地域完結型歯科保健医療が提供できるよう目指し、三重県歯科医師会会員の皆様が地域のかかりつけ歯科医として様々なニーズに対応できるように支援をしていきたいと考えています。

さて、わが国では物価高騰、賃上げ、人材不足が大きな課題となっていますが、これらは医療界、歯科界においても同様です。昨年の診療報酬改定では医療従事者の賃上げを目的として、ベースアップ評価料が新規導入されました。この1年間、会員の先生方には郡市会長会議をはじめ、各地区での時局講演・社会保障講習会にてこのベースアップ評価料の届け出・算定についてお願いをしてまいりました。三重県はこの施設基準の届け出が50%を超え、全国的にみても高い算定率となっております。この春にはこのベースアップ評価料算定医療機関のみが対象となる支援事業が提示され、今後もこのような賃上げに協力いただいた医療機関に国が支援する傾向は続くものと思われます。手続きや届け出が煩雑な部分もありますが、支援事業等の有益な部分もあり、何より大切な自院の従業員の賃上げにつながりますので、会員の先生方には引き続きご協力をお願いいたします。

また、医療従事者の人材不足は全国的にみても大きな問題で、医療現場の負担増大や医療サービスの質の低下につながる可能性があります。とりわけ歯科医師は令和4年の調査結果ではじめて減少に転じ、今後無歯科医地区の増加、医院の後継者問題が顕著になると考えられます。その他、南海トラフ巨大地震等の大規模災害や新興感染症に対し、会員、従業員、その家族の安全を第一に考え、非常時の歯科医療、歯科口腔保健サービスを担う体制を強化することも引き続き行い、国が推し進める医療DXに関しても、会員の先生方が安心安全に診療できるよう対策対応を講じていきます。

多くの課題がありますが、みえ歯と口腔の健康づくり基本条例や第8次医療計画に基づき、「全ての県民のライフステージにおける歯と口の健康づくりを進める」ことを第一目標に歯科口腔保健対策を進めていき、各地域で県民に切れ目のない支援が行えるよう全力でサポートしていく所存です。

三重県歯科医師会が今後も社会に必要とされる誇りある会になるように、今期も会務運営を進めていきたいと考えております。今後も一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願いいたします。

第2次稲本執行部発足（第4回・第5回理事会）

6月22日（日）第33回定時代議員会（P. 20 参照）直後、第4回理事会が招集され、会長予備選挙当選者の稲本良則氏（伊賀）を代表理事（三重県歯会長）に選出し、第2次稲本執行部が発足。伊藤裕之外部理事（亀山）が新たに執行部に入ることとなった。6月26日（木）第5回理事会では、冒頭稲本会長が今期の会務執行に当たっての所信を表明し、「着眼大局着手小局」を信条として、三重県歯科医師会が今後も社会に必要とされる誇りある組織であり続けるよう会務運営を進めたいと抱負を述べた。



新執行部の顔ぶれ

＜上段左から＞ 伊藤理事・中川理事・西本理事・加藤理事・重盛理事・
佐野理事・大西理事・新理事・大元理事・田中理事

＜下段左から＞ 寺辺監事・鳴神常務理事・伊東常務理事・前田専務理事・福森副会長
稲本会長・川瀬副会長・桑名常務理事・伊藤常務理事・宮田監事

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	稲 本 良 則（伊 賀）	理 事	大 西 薫 児（松阪地区）
副 会 長	福 森 哲 也（ 津 ）	理 事	西 本 康 助（ 津 ）
副 会 長	川 瀬 哲 人（桑 員）	理 事	佐 野 乃里江（四 日 市）
専務理事	前 田 圭 司（ 津 ）	理 事	重 盛 登 世（四 日 市）
常務理事	桑 名 良 尚（ 津 ）	理 事	大 元 秀 一（伊勢地区）
常務理事	伊 東 学（四 日 市）	理 事	田 中 一 生（鈴 鹿）
常務理事	伊 藤 法 彦（松阪地区）	理 事	中 川 貴 晴（伊 賀）
常務理事	鳴 神 茂 幹（鈴 鹿）	理事(外部)	伊 藤 裕 之（亀 山）
理 事	新 達 也（伊 賀）	監事(外部)	宮 田 保（桑 員）
理 事	加 藤 直 輝（伊勢地区）	監 事	寺 辺 勝 之（ 津 ）

◎ 三重県歯科医師会会員の皆様へ



LINE 公式アカウント 『三重県歯科医師会会員情報サービス』 にご登録ください

三重県歯科医師会では、県歯公式ウェブサイト等に掲載した新着情報等をいち早くお伝えするため、会員の多くが利用している LINE アプリのサービスである LINE 公式アカウント機能を活用した『三重県歯科医師会会員情報サービス』を開設しています。講習会・研修会情報、補助金・助成金情報、感染症情報、窃盗被害情報など、いち早く情報を発信させていただきますので、ぜひ、お使いのスマートフォンで同アカウントを「友だち」登録していただきますようお願いいたします。

なお、『三重県歯科医師会会員情報サービス』からの発信は会員限定とし、各診療所のスタッフや勤務医などの登録は禁止します。会員以外へのアカウント情報の漏洩は厳にお控えください。

【登録方法】

- ① QR コード読み取り機能を使用して、下記 QR コードを読み取っていただくか、下記の“**LINE 公式アカウント『三重県歯科医師会会員情報サービス』**”をクリックしてください。
- ②読み取りが完了したら、確認画面へ移行しますので、「追加」を押してください。
※ LINE アプリを使用していない場合は、新たにインストールする必要があります。

LINE 公式アカウント
『三重県歯科医師会会員情報サービス』
<https://lin.ee/GvYasCB>

スマートフォンの方は
URL からご登録ください
<https://lin.ee/GvYasCB>



令和7年度

郡市会長メッセージ& 歯と口の健康週間事業レポート

令和7年度の『歯と口の健康週間』は6月4日（水）から10日（火）まで、「歯みがきで丈夫な体の基礎づくり」の標語のもと、「心と体を支える歯と口の健康づくり～生涯にわたる口腔健康管理の推進～」を重点目標に実施され、三重県下でも様々な工夫を凝らした歯と口の健康に関する啓発イベントが催された。また、県下11の郡市歯科医師会では、県歯と同様に新執行部がスタート。これからの2年間、郡市歯の舵取りを担う各会長からのメッセージも併せてお読みいただきたい。



県下11郡市歯の会長

- <後列左から> 伊藤会長（桑員）・田中会長（四日市）・秋本会長（亀山）・
山本会長（鳥羽志摩）・松井会長（尾鷲）・関田会長（伊賀）
<前列左から> 萬代会長（鈴鹿）・花井会長（津）・西村会長（松阪地区）・
右京会長（伊勢地区）・齋藤会長（南紀）

一般社団法人

桑員歯科医師会

会長
伊藤寿志

この度、桑員歯科医師会会長2期目を迎えました伊藤寿志です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。桑員歯科医師会は2市2町（桑名市、いなべ市、東員町、木曽岬町）の歯科医師で構成され、現会員数は93名（うち終身会員10名）になります。1期目のうちに2世の先生に多く入会していただけたことは嬉しく思います。

先の2年間で県下最も遅れていた災害時の救護協定の締結や、妊婦健診の実施などの目標が達成でき、安堵しています。医師会、薬剤師会等多職種や行政との連携もだいぶ深まってまいりましたが、更なる連携を求めていきたいと思います。前回と今回で、会の中で2番目、3番目に若い先生に執行部に入っていただきました。会の将来を見据えた人事ですが、頑張って会務に励んでいただきたいと思います。

2市2町の中には高齢化が進んでいる地域もあり、歯科医院も少なくなっている地域もあります。若い先生方が敬遠しがちな訪問歯科を率先して行っていけるように、口腔ケアステーションを通じてアシストしていけたらと思っています。

桑員地域の住民の歯と口の健康を守り、地域医療に貢献し、健康作りに寄与できるよう会員とともに活動していきたいと思っています。

Event Report



6月12日（木）に柿安シティホール（桑名市民会館）で歯と口の健康週間「よい歯のコンクール」審査・表彰式が行われました。

「よい歯の部小学校6年生」は桑員地区の小学6年生が各校1名選出され、39名の中から公衆衛生委員会を中心に厳正なる審査が行われました。「よ

い歯の部中学校3年生」は写真審査で優秀者を選出し、当日の参加表彰は行われませんでした。

「歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール」には幼稚園図画の部、小学校図画の部、小学校ポスターの部、中学校ポスターの部、特別支援学級の部まで、多くの出展がありましたが、昨年と同様に展示はされませんでした。図画・ポスターの部は事前審査が行われ、それぞれ1位が事前に選出されました。

表彰式では、桑員歯科医師会の伊藤寿志会長の挨拶、桑名市教育委員会事務局教育監兼学校教育課長である片山哲哉氏の挨拶があり、その後優秀者に表彰状、トロフィーと賞品が贈呈されました。

（取材：永川稔晃）

一般社団法人

四日市歯科医師会

会長
田中淳一

令和7年6月の四日市歯科医師会定時総会において私にとって2期目の新執行部となりました。

四日市歯科医師会では平成9年4月より四日市市の委託を受けて四日市歯科医療センター（障がい者歯科診療）を運営しており、現在は、日本障害者歯科学会の専門医研修施設となっています。

また、四日市歯科医師会内に芝田前執行部から訪問歯科診療所を開設しており、口腔ケアステーションの新しい形として診療所が存在することにより歯科衛生士の派遣事業もスムーズに行えるようになりました。近年はひきこもりの方への歯科からの支援という依頼があり、ひきこもりで歯科診療が受けにくい方に手を差し伸べて社会との接点を持ってもらい、社会復帰のきっかけになっていただければと考えています。これらは口腔ケアステーションに連絡していただき、口腔ケアステーション訪問診療所の協力医で試行錯誤して今後進めていきます。多職種連携では四日市薬剤師会から連携事業の依頼がありました。当初は、薬が飲みにくい場合に薬を粉碎すると効能が変化するため「粉碎せずに飲むには？」から始まり、最終的には服薬困難者を薬局から歯科医院に紹介するという事業になりました。今後、オーラルフレイルに関する事業は、取り組む機会が増えていくと思っています。

Event Report



6月5日（木）、本年度も昨年同様、四日市市文化会館第2ホールにて、「歯と口の健康週間事業」の一環として「よい歯の児童生徒」、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」、及び「四日市歯科医師会口腔衛生賞」の表彰式を開催しました。式典では、四日市市長及び市議会議長より祝辞を賜り、また各市町の保健行政関係者の皆様にも多数ご臨席いただき、盛大かつ意義深い式典となりました。なお、来年度は文化会館が改修工事に入る予定のため、会場を変更する見込みです

が、引き続き円滑で充実した式典となるよう準備を進めてまいります。

「よい歯の児童生徒」表彰では、小学6年生の部と中学3年生の部において、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞4名が選出され、表彰状と記念のメダルが贈られました。図画・ポスターコンクールについては、イオンモール四日市北店のご協力のもと、7月3日（木）から10日（木）までの期間、応募のあった122点すべての作品を展示しました。今年度は、私立幼稚園・保育園にも応募対象を広げたことで、多くの作品が寄せられました。

また、「四日市歯科医師会口腔衛生賞」には、長年にわたり養護教諭として口腔衛生の実地指導に尽力された、中部西小学校の風間祐三子先生が選ばれました。

このような活動を通じて、より多くの方々が若いうちから歯と口の健康に関心を持つきっかけとなることを願っています。

（取材：深津雄己）

一般社団法人

鈴鹿歯科医師会

会長
萬代慶太

このたび、鈴鹿歯科医師会の会長を拝命いたしました萬代慶太でございます。鈴鹿の語り部によると第9代目の会長だそうです。歴史と伝統ある当会の会長という大任を仰せつかり、誠に身の引き締まる思いでございます。

近年、歯科医療を取り巻く環境は大きく変化しております。少子高齢化の進行、医療提供体制の変革、さらにはデジタル技術の急速な進展など、私たち歯科医師が対応すべき課題は多岐にわたっております。こうした中にあっても、地域に根差した歯科医療をより一層充実させ、地域住民の皆さまの口腔健康の保持・増進に努めてまいりたいと考えております。

私といたしましては、先生方やスタッフの皆様が安心して日々の診療に取り組めるような環境づくりを第一に掲げております。そのために、行政機関や教育機関、地域の医療機関との連携を一層深めるとともに、災害時の体制整備や感染症対策、公衆衛生活動にも積極的に取り組んでまいります。

微力ではございますが、皆さまと力を合わせ、歯科医師会のさらなる発展のため尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Event Report



6月5日（木）、鈴鹿市保健センターにて、歯と口の健康週間事業が行われました。

暑さを感じる中、鈴鹿市教育委員会、鈴鹿市地域医療推進課、三重県歯科衛生士会鈴鹿・亀山支部、歯科業者等の協力のもと開催され、多くの市民の方に来場していただきました。

よい歯の児童生徒の審査並びに表彰、歯・口の

健康に関する図画・ポスターコンクールの表彰は鈴鹿市教育課主体のもと、鈴鹿市内各中学・小学校の児童生徒の代表が参加されました。今年度も8020 よい歯のコンクールも開催され、34名の方の審査をさせていただきました。最優秀に選ばれた方は94歳で32本すべての歯が残っていました。コンクールの表彰式には末松市長もご臨席いただき、優秀者に表彰状を授与していただきました。また、無料の歯科健診相談、歯科衛生士会によるお口の健康チェックコーナーなどを行いました。

大きなトラブルもなく本年も無事終了することができ、市民の皆さまに歯と口の健康について啓発できたかと思いますが、若年者の来場が来年度への課題かと思います。

（取材：伊東信介）

一般社団法人

亀山歯科医師会


 会長
秋本和宣

亀山歯科医師会の秋本です。今期で4期目を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私が6年前に会長に就任してから会員数は2名減りましたが、各会員が会務に影響が出ないように役職を兼務しながら運営に協力していただいています、厚く感謝申し上げます。

今期の目標としましては、鈴亀地区に病院歯科を設立することです。現在、亀山については三重大学医学部附属病院や四日市市民病院の歯科口腔外科へ患者様を紹介している状況です。両病院とも通院に距離もあり時間がかかるため、高齢者は苦慮しています。また、患者様の分散化という面でも必要不可欠な医療機関となるように期待しています。

昨年8月に亀山市長へ設立のための要望書を提出しました。今後の進捗状況を見ながら行政機関と協議し1日も早く設立できるよう努力してまいります。

口腔ケアステーション事業については、サポートマネージャーの雇用も決まり本格的に始動できる体制が整いました。これにより訪問診療の窓口も広がり、需要も増えることを期待しながら会員の協力により地域医療に貢献し、健康寿命の延伸に寄与できるように取り組んでいきたいと思ひます。

Event Report



亀山歯科医師会、亀山市健康福祉部、亀山市教育委員会が共催で、令和7年度よい歯のコンクールの審査及び図画・ポスターの展示が行われました。『歯と口の健康週間』において、児童生徒及び園児の歯と口の健康に関する正しい知識を普及するとともに、むし歯・歯周疾患の早期発見、治療及び歯口清掃等予防措置の徹底を図る目的の事業となります。

『よい歯の部』では、小学校11校、中学校3校から各学校代表者1名ずつが選出され、小学校で

は最優秀賞として川崎小学校6年の松野朱里さん、優秀賞として亀山東小学校6年の池田紗菜さん、中学校では優秀賞として亀山中部中学校3年の伊藤遥香さんが選出されました。

『図画・ポスターの部』では、市内の小学校・中学校・幼稚園（含認定こども園）・保育園から1,309件の応募があり、計48点が学校（園）代表として出品されました。各部門の最優秀賞として、小学校低学年の部では神辺小学校3年の大平千翔さん、小学校高学年の部では関小学校6年の加藤廉さん、中学校の部では亀山中学校3年の服部心美さん、特別支援学級の部では関中学校2年の坂心風さん、幼稚園（含認定こども園）の部では井田川幼稚園年長の石野友暉さん、保育園の部では第一愛護園年長の滝澤雄雅さんが選出されました。図画・ポスターについては6月2日～6月8日まで亀山エコーに、6月9日～6月15日まで亀山市立図書館に展示されました。

（取材：野島 卓）

公益社団法人

津歯科医師会

会長
花井博祥

このたび、津歯科医師会会長に就任した花井博祥です。

平成 29 年の理事就任以来、コロナ禍を経て、会の事業実施には会員相互のつながりが大変重要であることを痛感しています。この点、当会は会員相互の集いの場を数多く設けています。具体的には、大先輩の集う「プラチナ会」、理事以外の先生のご意見をいただく「移動理事会」、退任された役員を慰労する「退任役員慰労会」、女性会員の集う「ヴィクトリア会」、会員同士の懇親を深める「会員研修旅行」、会員の家族、従業員を慰労する「会員・家族・従業員慰労会」、さらには年末の「忘年会」などが挙げられます。これらの場を通じて得られた会員相互のつながりを日々の診療、活動に役立てていくことが、地域医療への貢献、津市民の健康増進につながると考えています。

当会は津市在住の会員 150 名で構成され、日々市民の健康増進に取り組む中、今年度は新たに歯周病検診の対象年齢に 20 歳が加わることになりました。会員の高齢化、災害対応等の多くの課題がありますが、会員の絆をベースに今後も市民に信頼される津歯科医師会づくりに取り組んでまいります。

Event Report



6 月 8 日（日）、津リージョンプラザにおいて、歯の健康展が行われました。500 名前後の方の来場がありましたが、スムーズに皆様各ブースを回られていました。指の模型の作成、歯みがきレッスンや歯医者さんのお仕事体験、義歯の洗浄や一般歯科・矯正歯科相談、口腔がん検診、クッキー作りのイベント、血管年齢測定や栄養相談等もあり、予約が埋まり大賑わいの 1 日でした。

コンクールでは図画・ポスターコンクール、親

と子のよい歯のコンクール、8020 よい歯のコンクール等の表彰式が行われました。図画・ポスターに関しては、幼稚園から中学校まで、たくさんの応募があり、会場を華やかに彩っていました。今年度も午前中の時間での開催となりましたが、濃厚な時間の中で歯の大切さを伝えることができたと思います。

市長から、来年度は高校生まで津市の医療費自己負担が無くなるという話もお聞きできました。年明けから開催まで、様々な職種の方との打ち合わせを行い、たくさんの方の手助けもあり無事に開催することができました。

公衆衛生のイベントを通じてお口の健康の大事さを啓発し続ける事で、全身の健康に繋がると 생각합니다。これからも、このようなイベントを通して口腔衛生の向上に貢献できればと思います。

（取材：田中祐介）

一般社団法人

松阪地区歯科医師会

会長
西村充功

この度、松阪地区歯科医師会会長を拝命いたしました西村充功です。よろしくお願いいたします。

当会は松阪市、多気町、明和町、大台町の1市3町で構成され、会員数99名です。私は16年前に長井執行部の理事となり、専務理事6年、副会長2年、会務に携わってまいりました。

主な事業といたしましては、公衆衛生活動であるフッ化物洗口事業は、あと2年で義務教育の全中学校まで開始いたします。口腔ケアステーションの運営、多職種連携事業（糖尿病と歯周病相互紹介、薬剤関連顎骨壊死、地域包括ケア関連事業等）も地域のために実りのある事業にしていきたいと思います。

また、会員の先生方のご意見に耳を傾け、学術研修会、福利厚生事業をさらに充実させ、先生方が健康で楽しく地域のために歯科医師会を通じて活動し、地域住民に喜ばれ頼りにされる歯科医療を提供する環境を構築できるよう会務を執行してまいりますのでご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

Event Report



6月1日（日）、松阪市健康センター「はるる」にて、よい歯のコンクール2次審査・表彰式を開催しました。参加者は、親と子部門5組10名、よい歯部門の幼稚園児12名、小学生13名、中学生8名、80歳以上の歯っぴいライフコンクール11名でした。また、図画・ポスター表彰者は、幼稚園、小学校低学年、高学年、中学校から各1名、計4名でした。

昨年は舞台のあるホールで開催し、エントランスには歯科衛生士会、口腔ケアステーション、松阪市健康づくり課の3ブースを設けた小規模イベントを併設していました。しかし、参加者が表彰者とその家族に限られ、開催時間も2時間程度であったため、本

年度は2次審査・表彰式に特化した形式で実施しました。

健康センターには、1歳6か月児・3歳児歯科健診用の個室をはじめ、小児科健診室や栄養相談室など多くの個室があり、机や椅子などの基本的な準備が不要で、導線もコンパクトという利点がありました。結果として、開催時間も昨年より短縮され、参加者の待ち時間が軽減されました。デメリットとしては、参加家族の人数によって駐車場や表彰式会場の収容に余裕がなくなる可能性がありましたが、事前に人数制限を案内したため、大きな問題は生じませんでした。舞台での表彰式のような華やかさには欠けるものの、表彰者と家族の距離が近いアットホームな雰囲気は大きなメリットでした。表彰を受ける子どもたちにとっても、家族の温かい笑顔を間近に感じられる良い機会になったと考えられます。来年以降も「はるる」での開催が予定されているため、各部署から挙がった課題を検討し、より充実したコンクールとなるよう努めていきたいと思っています。

（取材：川村英司）

一般社団法人

伊勢地区歯科医師会

会長
右京博巳

この度伊勢地区歯科医師会会長に就任いたしました右京博巳です。

当会は伊勢市・度会4町（玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町）の会員103名で構成されております。

フッ化物洗口事業は昨年度から大紀町の保育園、伊勢市の公立保育園、幼稚園、小学校で開始され、大紀町では次年度から小学校、伊勢市では今年度及び次年度ですべての小学校で開始される予定です。現在南伊勢町の小学校がコロナ禍以降休止していますが、1市4町のすべての公立保育園・幼稚園・小学校で開始されるようになります。また、中学生以上のう蝕の増加への対応として、中学校におけるフッ化物洗口の開始を各教育委員会に要望しております。

当会と1市4町の行政及び教育委員会とは長年良好な関係を構築しております。そのため1市4町で妊産婦検診が実施され、歯周病検診においては、南伊勢町・大紀町が20歳から74歳まで通年の検診が実現され、現在節目検診に留まっている他の市町に働きかけ、1市4町の均一化を要望しております。

ほとんどの理事の先生が再任していただき、各事業に取り組んでいただいております。コロナ禍で減少した会員の交流を深めていきたいと考えております。会員の先生方のご協力をお願いいたします。

Event Report



歯と口の健康週間事業表彰式が7月6日（日）、伊勢市御園町のハートプラザみそにて執り行われました。表彰式が6月開催となると、学校の行事や新年度の始業から期間が短いため多方面で多忙となるため、今年度はひと月遅らせての開催となりました。一昨年から始めた最終審査と表彰式を別日とすることを皮切りに、毎年度改善を行っています。

昨年度は図画ポスター部門で保育園にも募集を

広げ、今年度は保育園・幼稚園・こども園をまとめて「幼児部門」とし、「特別支援学級部門」を廃止し、小学校の低学年、高学年に組み込みました。よい歯のコンクール部門でも親と子部門も啓発重視の観点から継続開催しました。まず、歯と口の健康週間事業実行委員会の田口 昇会長の挨拶で始まり、来賓を代表し伊勢市市長の鈴木健一氏、伊勢市教育委員会教育長の小林貴法氏にご挨拶をいただきました。続いて、歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール表彰、よい歯の児童生徒表彰、親と子のよい歯のコンクール表彰、よい歯でいきいきコンクール表彰が行われました。各種表彰後、閉会のことを玉城町教育委員会教育長の山村嘉寛氏にいただき、閉式となりました。

受賞された方々のみならず選考に上がった方々におかれましては、今後も良き口内環境を維持し、心身共に健康でおられますようお願いしています。

（取材：佐々木和宏）

一般社団法人

鳥羽志摩歯科医師会



会長

山本 修

今期でいよいよ9期目になりました。17年目の会長職となります。

マイナ保険証、ベースアップ評価料、保健医療機関等電子申請・届出等システムなど医療のDX化の推進で様々な手続きが複雑化しており、ついていくのが大変な年齢になってきました。デジタル化が進めば様々な事が効率化されて便利で楽になってくると考えられますが、過渡期にはその登録やアプリの導入などでまだまだ多くの先生方は慣れてきていないと思います。施設基準の届け出や報告などがもっと簡単になっていくことを期待しながら、何とかその流れについていけるように県歯と当会の橋渡しをしていきたいと思います。過疎市町村MAPによりますと、鳥羽市、志摩市は全国の全部過疎の市町村713都市に入っています。三重県の南半分はほとんど入っているのですが、私たちの地域の高齢化、人口減少がさらに深刻になってきています。私たちの会員も高齢化や廃業がすすみ、終身会員を除く会員数の減少のために会員の人数の減少と年会費の収入も減少してきてます。

これらの課題が多くある中で、いろいろな角度から検討し、会員の先生方の意見を生かしながら、今期の事業を展開していきたいと思います。少ない人員と予算の中でいかに効率の良い事業を行っていくかも考えていく必要があると思います。これまでの長い会長経験を活かしつつ更なる困難な状況に対応できるように努力をしてみたいです。

Event Report



歯と口の健康週間事業として、「よい歯の児童生徒」の診査が7月9日（水）に鳥羽志摩歯科医師会事務局にて行われました。昨年は例会参加者全員で審査を行いましたが、今年は「お口の健康祭り実行委員会」と、入賞の可能性がある児童生徒の学校歯科医が集まり診査しました。例年通り、児童生徒と引率者の負担を考え、一堂に招集することは行わず、小学校代表者（志摩市6名、鳥羽

市3名）、中学校代表者（志摩市5名、鳥羽市2名）の中から、咬合状態などを詳細に記載した書類と口腔内写真・模型をもとに、担当学校歯科医の意見を交え、生活習慣や口腔保健に対する意識なども考慮し、最優秀者・優秀者を決定しました。

この数年間「親と子」部門は実施しておらず、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は教育委員会の協力で実施されました。秋に行われる志摩市や鳥羽市のイベントなどで機会があれば表彰式を考えており、それが叶わない場合は各学校での表彰式を予定しています。

鳥羽志摩地区においては離島など地理的条件から、小中学校の統廃合や医療・介護サービスの提供が困難なこと、歯科医師会のマンパワー不足など、多くの問題を抱えていますが、地域保健に効率的に寄与していきたいと考えています。

（取材：山本英志）

一般社団法人

尾鷲歯科医師会

会長
松井俊哉

終身会員を待たずして退会していく先生が多く、会員減少中の尾鷲歯科医師会です。今回は待望の新入会員を1名迎えることができました。

この地域は、患者さん、ドクターともに地域が高齢化しております。銀行のキャッシュカードのように便利になったものもありますが、マイナンバーカードの登録に始まり、保険証も廃止になり、効率を追求するあまり、不慣れな方にはかえって時間がかかり、ドクターと患者のコミュニケーションの時間が減っているように思います。

ドクターの方もデジタル化の波に反発するあまり早期廃業するケースもあると聞いています。昭和の時代のアナログな対応をしていくことも大事だと考えます。

事業としては口腔ケアステーションの運営、訪問診療への対応、施設の口腔ケアの管理等々、要求されることは年々増えてきますが、時代に逆らうことはできませんので、これからも限られた会員で地域住民に信頼される歯科医師会を目指して誠実に事業に取り組んでいきます。

Event Report



尾鷲地区の「歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は、紀北町の小学校を借り、夏休みに入ってから7月23日（水）に開催しました。

小学校12校から862作品、中学校6校から170作品の応募がありました。

美術の先生を中心に養護教諭の先生達により、最優秀賞4名、入選40名を選出しました。多くの作品から子ども達が「歯を大切に作る心」を理解していることが伝わってくる作品を選びました。

選ばれた作品は、7月31日（木）から8月7日（木）まで海山公民館で展示され、多くの一般の方、子どもや保護者の方々に絵・ポスターを通じて意識向上を図ってもらえれば良いと思います。

「よい歯の児童生徒」は、昨年同様、学校からの要望もあり、6月18日（水）から6月25日（水）の間に各学校に出向き、厳正な審査を行い、小学校10校、中学校5校から、最優秀者2名、優秀者2名を選出しました。最近は少子化の為、ここ数年学校代表のいない学校がみられるようになりました。

最後にコンクール関係にご協力いただいた学校関係者の皆様、そして審査や準備に尽力いただいた方々に心より感謝申し上げます。これからも口腔衛生の向上に向けて、歯科医師、歯科衛生士による専門的な指導のもと、学校関係者とともに歯科活動を継続してまいりたいと思います。

（取材：八原康好）

一般社団法人

南紀歯科医師会

会長
斎藤鉄郎

このたび、南紀歯科医師会会長を拝命いたしました斎藤鉄郎です。微力ではございますが、会員の先生方と力を合わせ、住民の皆さまの健康づくりに貢献してまいります。

当会は、熊野市及び南牟婁郡という、人口減少や高齢化が進む地域を支える小規模な歯科医師会です。会員数も多くはありませんが、その分、顔の見える信頼関係を大切にしながら活動を続けています。

大きなプロジェクトを一度に進めるのは難しい状況ではありますが、現在取り組んでいる小学校でのフッ化物洗口事業をさらに拡充し、地域の子どもたちのむし歯予防を着実に進めていきたいと考えています。また、口腔ケアステーションの活用を一層推進し、医療・福祉・介護など他職種の皆さまと連携を深め、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを支えていく所存です。

執行部一同、それぞれの経験と持ち味を活かし、柔軟で温かみのある会運営に努めてまいります。今後とも、南紀歯科医師会へのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Event Report



7月3日（木）、熊野市文化交流センター多目的ルームで「よい歯の児童生徒第二次審査」と「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の審査が行われました。午前中、美術教諭を含む学校関係者により図画・ポスターの審査が行われ、地区代表作品を選出しました。また各賞を受けた作品は、同センターロビーで1週間、一般展示されました。午後の「よい歯の児童生徒の審査」には熊野市、御浜町、紀宝町から13名（小学生9名、中学生4名）が参加。歯科医師会会員3名（斎藤

鉄郎先生、齋藤友紀先生、小山 悠先生）による審査の結果、金山小6年の中村百合花さん、木本中3年の畑野美織さんが最優秀に選ばれました。斎藤鉄郎会長は「歯と口の健康を維持していくのは大変なことです。人生100年時代といわれていますが、高齢になってもしっかり食べられるように、歯みがき、生活習慣に気を付けること。そしてかかりつけの歯科医院での定期健診も欠かさず受けていただき、自分自身でお口の健康を守るように心がけてください。」と挨拶。また小山 悠公衆衛生理事も、「皆さんの口の中は素晴らしく、審査が大変でした。よい歯は心と身体の健康の入り口です。これからもより一層、お口の健康を大切にしていってください。」と講評しました。

この審査の様子は地元紙やケーブルテレビで紹介され、各学校のWebサイトにも投稿されるなど、「歯と口の健康週間」を盛り上げていました。

（取材：畑中保宏）

一般社団法人

伊賀歯科医師会

会長
関田英紀

今期も引き続き伊賀歯科医師会会長を務めさせていただくこととなりました、関田英紀です。

伊賀歯科医師会は、伊賀市・名張市において開業・勤務する歯科医師約 70 名余で構成されております。

近年、伊賀地域におきましては、少子高齢化の進行に伴い、人口減少してきております。こうした状況のなか、地域住民の皆さまの歯科口腔保健の現状を見つめ、将来を見据えながら、微力ではございますが、地域に根ざした口腔保健活動に引き続き取り組んでまいりたいと存じます。

また、三重県歯科医師会執行部の方針のもと、伊賀歯科医師会としても三重県歯科医師会の事業に積極的に協力・連携し、これまで先人たちが築いてこられた地域での諸事業を、関係機関の皆様と力を合わせて継承・発展させてまいります。

今後とも、関係各位の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Event Report



6月8日（日）、歯と口の健康週間事業の一環である「令和7年度よい歯のコンクール」を開催しました。今年度は名張市が担当市になり名張市役所の大会議室で執り行いました。

よい歯の児童生徒の部と、歯・口の健康に関する図画・ポスターの部は事前に審査を行い、各部の最優秀賞者を表彰しました。よい歯の児童生徒の部の事前審査は、各学校の代表者を撮影した口腔内写真にて行い、歯列、歯肉の状態、口腔内清掃状態等を審査しました。また、歯・口の健康に関する図画・ポスターの部の事前審査では、今年

度より幼稚園の部から幼児の部に変更し、保育幼稚園担当部署の協力もあり保育所（園）等からも取り組みいただき、沢山の鮮やかな作品を出展いただきました。

よい歯のコンクールの当日は、関田会長の開会の挨拶の後、名張市の北川市長から受賞者の方やご家族に受賞を称えるお祝いの言葉と「一生自分の歯で食事ができるように、これからも歯を大切にしてください。」とお言葉をいただきました。賞状授与式では受賞者は終始緊張した様子でしたが、席に戻り、ご家族の方の顔を見ると嬉しそうにされていました。

最後に名張市教育委員会の西山教育長より閉会の挨拶があり、式典終了後は地元ケーブルテレビや新聞等の取材や写真撮影もあり、受賞者やご家族の方もとても喜んでいる姿が見られました。式典の内容は地元ケーブルテレビ、新聞、タウン情報誌でも紹介されました。

（取材：前沢 宙）

令和7年度歯科衛生士研修会

令和7年5月18日（日）

三重県歯科医師会館

5月18日（日）、令和7年度歯科衛生士研修会が開かれ49名の歯科衛生士が出席した。今回は9年前にも講演された藤橋歯科医院の歯科衛生士・安生朝子先生が「歯科界の未来予想図ー歯科衛生士のミッションー」と題して講演。安生先生は、歯科衛生士として、そして医療従事者として、責任感を持ち、常に自己研鑽を続けることの重要性を強調され、謙虚な姿勢で歯科スタッフとしての品格を備えること、「医院は患者さんのためにある」という理念を持ち、さらにチーム医療において協調性を大切にすることが求められると解説された。安生先生は日々の臨床において「いつまでも楽しく口から食べられることを支えたい」という想いを常に持ち、40年間にわたり歯科衛生士として活動されてきたことを語られた。

（医療管理委員・廣岡卓哉 記）

「歯科界の未来予想図ー歯科衛生士のミッションー」

藤橋歯科医院 歯科衛生士・安生朝子氏



■ 歯科衛生士になって

歯科衛生士になり、43年間休まず、ずっと走り続けてきた人生だった。振り返れば、すべては自分の経験となり、そして人の経験を思いやれる・人の悲しさを分かち合える・喜びをプレゼントしていただけるような仕事といえる。これからも心で器具を持ち、指先だけでなく心に神経を集中させて仕事をしていきたいと思っている。

2007年に株式会社ジョルノを設立し、歯科衛生士のレベルアップをサポートを中心に、スタッフの方々の不足の部分の教育を行ったり、先生方の

経営の一助となれるようミーティングを行ってきた。また、その他にホワイトニングのレベルアップ指導や自由診療のコンサルテーションの仕方などを手助けしている。

歯科衛生士は、患者が食事をするときに「痛くないね・美味しいね・食べられるようになったね」という「食」を楽しむための手助けをすることに大きな役割がある。学会発表時のスライドのようにきれいな歯肉を作るためではなく、患者が食感・のどごし・酸味・苦味・塩味・甘味も感じていけるような支援を行っていくことである。

■ 歯科界の現状

歯科医院はコンビニエンスストアより多く、生き残るためには、「歯科治療の腕の良さ」は基本ではあるが、それだけではなく経営戦略も必要である。患者さんがその医院のファンになって、リピーターになってもらうことにより、家族や知り合いなどの紹介に繋がっていくことになる。

良い医院とは、▽利便性▽休診日と診療日のバランス▽待ち時間がなく予約の正確さ▽スタッフ

の気持ちの良さ▽診療室の清潔感—等が挙げられ、これに加えて歯科衛生士の協力がとても必要になってくる。予防歯科が重要視される時代であり、歯周病患者の増加でその治療の重要性も高まっている。歯科医療は小児から高齢者まで「ひと」のライフステージに関わることから歯科医師とともに歯科衛生士の役割も大きい。歯科衛生士は歯科医師の治療の合間のフィールドワーカーとして、患者に対してヒヤリングできる能力や関係構築スキルも重要である。

■ 歯科医院で心得ておくべきビジネスマナー

社会人としてのマナーは組織ルールを守ることであり、組織ルールを把握していないと医院の流れのスムーズさに欠けることになるため、ルールをきちんと把握することが必要である。(図1)

社会人としてのマナーは組織ルールを守ること

社会人マナーとして知っておきたい6つの心得

1. あいさつはハキハキと
2. 時間を守る
3. 報告、連絡、相談を怠らない
4. 丁寧なコミュニケーションを意識する
→まずは、相手の話をよく聞くこと
5. 整理整頓を心がける
6. 医院独自のハウスルールを把握する
→院長の考え、価値観を知り、遵守する

図1

責任感を持つ中で必要なことは、今できることはすぐに行動するという、何事にもあきらめないということが重要である。そして歯科衛生士としての自覚を持ち、それを高めていくために自己投資し、日々勉強していく姿勢が必要である。チームで働くうえで協調性はもっとも大切で、協調性がある人のさりげない気遣いが組織全体の作業効率を上げ、患者さんの満足度と業績の向上に繋がることになる。

また、歯科衛生士は顧客を増やし歯科医院の経営に貢献することができる。売り上げを増やすことも大切であるが、どれだけ無駄をなくすかも大切であり、また患者が何を求めているのかを一番に優先して考え、ここにきて良かったと思えるよ

うな付加価値のある治療を提供するべきである。(図2)

歯科医院経営において歯科衛生士がすべきこと

歯科衛生士が経営に貢献する方法は2点

- ①売上を増やすか
→リピーターの増加、口コミによる新患増加、自費率の向上など
- ②無駄を無くすか
→時間の無駄(スキルを磨き、効率的な診療を行う。
例えば、アポイント時間を45分から30分に短縮して、より多くの患者の診療を行う)
材料費の削減、効率化による人件費の削減、
ゴミの分別による医療廃棄物の削減、
採用活動に対する協力で採用費を最低限にする、など

図2

■ 治療説明・モチベーションのコツ

モチベーションは、患者自身によるプラークコントロールを成功させ、歯周治療を成功させるうえで欠かすことができない。患者との信頼関係を確立した上で、プラークコントロールが口腔の健康を回復、維持・機能していくために不可欠であることを自覚させる。モチベーションは一般的に時間の経過とともに効果が低下するため、メンテナンスでは、患者のモチベーションを維持することが最も重要である。(図3)

治療説明、モチベーションのコツ

モチベーション

現在 → 未来

モチベーションは、とにかく未来！
どのようにありたいか、目標を明確に定めた上で、今、何が必要なのかを伝えることが重要。

具体的には、歯周組織検査や病状を知らせること、細菌性プラークと歯周病との関係についてわかりやすく視覚的資料で示すことなど。

図3

長期メンテナンスは、歯科医師から認められて継続できることであり、これに加えてスタッフ間の連帯感と協調性があることであり、そして患者との信頼関係は必要不可欠であり、同じ歯科医院に長く勤務することによってその患者を長く拝見することができ、患者の食を一生涯支えていくことができる。

令和7年度

June

第3回理事会

令和7年6月5日（木）

三重県歯科医師会館

医療費助成受給者証及び診察券のマイナカードへの一体化補助金



6月5日（木）、令和7年度第3回理事会が開催された。現執行部として最後の理事会となる。社会保障委員会は、ベースアップ評価料に係る説明動画をカフェテリアサイトに公開したことを報告。動画では令和7年度賃金改善計画書及び令和6年度賃金改善実績報告書について解説している。医療管理委員会は、厚労省より連絡のあった「医療費助成の受給者証及び診察券のマイナンバーカードへの一体化に関する補助金の令和7年度の申請

受付の開始について」を報告。一体化するためのレセコン等の改修に対する補助金が本年6月上旬より申請受付が開始される。公衆衛生委員会は、第74回三重県学校歯科衛生大会の案内について、8月28日（木）に日本学校歯科医会生涯研修制度運営委員会委員長の柴田 宏先生を迎え、「学校歯科保健、最近の動向と実際」について講演いただく旨を報告。この日は現執行部の任期満了に伴う県歯次期役員選挙の届出日に当たり、理事選挙に17名、監事選挙に1名、外部理事に1名、外部監事に1名がそれぞれ立候補。いずれも定数を超えなかったため、選挙規則第56条により無投票での当選が決まった。6月22日（日）に開催される第33回定時代議員会に役員選任に関する議案が上程される運びとなる。このほか、代議員会には令和6年度決算に関する議案が上程される予定。

報告等

●三役報告

【稲本会長】第140回都道府県会長会議（5/23）

【服部副会長】三重県救急医療情報センター第27回定例理事会（5/13）、三重県健康管理事業センター理事会（5/29）【福森副会長】日学歯令和7年度生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会（Web）（5/13）、第7回三重県医師会小児在宅医療連絡協議会（5/15）

●社会保障委員会

【事業活動】社保打合せ（5/15）、デジタルコンテンツプロジェクト会員向け動画予演・収録（5/22）、新審査員オリエンテーション（6/5）

【報告事項】ベースアップ評価料に係る説明動画の公開、日歯：ベースアップ評価料（Ⅱ）計画書の届出手引き、第25回医療経済実態調査（医療機関等調査）に関する協力のお願い、「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正（協力依頼）

●医療管理委員会

【事業活動】第1回歯科助手講習会（5/15）、令和7年度歯科衛生士研修会（5/18）、第2回歯科助手講習会（5/22）、第3回歯科助手講習会（5/29）【出席会議】三重県エイズ治療拠点病院

連絡会議（Web）（6/3）【報告事項】医療費助成の受給者証及び診察券のマイナンバーカードへの一体化に関する補助金の令和7年度の申請受付の開始、三歯会報6・7月号植村顧問記事、SNS（TikTok）広告配信状況、今年度インターンシップ・ジョブシャドウイング事業申込状況、「みえ8020推進ネット」eラーニング動画、歯科相談5件

●学術委員会

【事業活動】県薬剤師会との打合せ（5/15）【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（HP）、令和7年度学術研修会助成事業

●公衆衛生委員会

【事業活動】県薬剤師会との打合せ（5/15）、東海・信越歯科医師会歯科健診事業に関するWeb会議（Web）（5/21）、第30回三重県歯科保健大会第1回実行委員会（5/29）【報告事項】第74回三重県学校歯科衛生大会周知チラシ、第53回産業歯科医研修会（eラーニング）の開催、各郡市歯の歯と口の健康週間事業、日歯：令和7年4月実施がん診療医科歯科連携アンケート集計結果【協議事項】病院歯科における口腔ケア実践研修、第11回歯科医師認知症対応力向上研修、第20回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座、第16回みえ歯ートネット研修会

●広報情報委員会

【事業活動】『三歯会報』4・5月号発行、メルマガ発行（5/14、28）、MDA News、Sunshine Net（5月掲載記事110件）、FM三重『はぴはぴ子育て』、三重テレビ「歯っぴーデー」打合せ（5/8）【報告事項】第107回全国高等学校野球選手権三重大会「インフォーマーシャル企画、みえ8020推進ネットメルマガ（6/9発行予定）

●スポーツ歯科PT

【事業活動】第10回スポーツ歯科プロジェクト



会議（6/5）

●デジタルコンテンツPT

【事業活動】会員向け動画収録（学術）（5/15）、会員向け動画予演・収録（社会保障）（5/22）【報告事項】カフェテリアサイト動画再生数データ（4/1～5/29）【協議事項】県民向け動画「お母さんに見つけてほしい初期むし歯」

●障害者歯科センター

【事業活動】伊勢保健衛生専門学校実習、センター診療実績5月診療分【報告事項】障害者歯科センタースタッフ研修

●災害時対応・体制室

【報告事項】セコム登録状況（6/4）、日歯：応援都道府県JDAT一覧（案）

●日歯委員会等

【地域保健委員会】第7回地域保健委員会（5/14）【広報委員会】第13回広報委員会（6/4）【その他】令和7年女性歯科医師の集い（5/21）

●その他の報告

介護保険給付費審査会（5/26）

協議事項

1. 会務並びに事業の運営について

議題

第1号：第33回定時代議員会の招集並びに附議事項に関する件

第2号：互助会給付（5/8～6/2申請分）

第 33 回定時代議員会

June

令和 7 年 6 月 22 日（日）

三重県歯科医師会館

新役員選任／第2次稲本執行部が発足



6 月 22 日（日）、第 33 回定時代議員会が開かれた。稲本会長の挨拶の後、令和 6 年度保健衛生賞の表彰が行われ、出席した受賞者に賞状と記念品が手渡された。選挙管理委員会の中西委員長は選挙管理委員会から先に行われた次期役員選挙で理事候補者 17 名と外部理事候補者 1 名、監事候補者 1 名と外部監事候補者 1 名の無投票当選が決まったことが報告された。選挙結果に基づく役員の選任についてはこの日の議事で議案として上程

され、候補者ごとに役員選任の決議を実施。全員がすべての代議員の賛成を得て承認され、次期役員に正式に決定した。すべての議事が終了した後、代議員会直後には第 4 回理事会が招集され、会長予備選挙当選者の稲本良則氏（伊賀）を代表理事（三重県歯会長）に選出し、第 2 次稲本執行部が発足した。伊藤裕之理事（亀山）が新たに執行部入りしている。

公益社団法人三重県歯科医師会 令和 6 年度保健衛生賞受賞者



日比野 守 恭 氏	桑 員
柿 澤 善 樹 氏	四 日 市
伊 藤 雅 之 氏	四 日 市
小 林 晋 嘉 氏	鈴 鹿
中 川 直 樹 氏	津
神 山 豊 氏	津
辻 泰 明 氏	松阪地区
橋 本 肇 氏	伊勢地区
中 井 久 氏	鳥羽志摩
八 原 康 好 氏	尾 鷲
齋 藤 友 紀 氏	南 紀
大 林 敏 氏	伊 賀

選挙管理委員会報告

中西委員長より次期三重県歯科医師会役員選挙の選挙人選挙で、6月5日（木）に立候補届出を締め切ったが定数を超えなかったため、理事立候補者18名及び監事立候補者2名が当選人となったことが報告された。また、日歯代議員及び予備

代議員については、稲本良則氏（伊賀）と前田圭司氏（津）が代議員に、福森哲也氏（津）と川瀬哲人氏（桑員）が予備代議員に当選したことが併せて報告された。

会長報告・会務報告等



経済財政運営と改革の基本方針2025

6月13日（金）に閣議決定された。来年の予算に反映されていくことになる骨太の方針である。歯科に関することでは、歯科巡回診療、全身の健康と口腔の健康に関するエビデンスの活用、歯科衛生士・歯科技工士の離職対策を含む人材確保、医歯薬連携などの多職種連携、歯科保健教育の推進、公定価格分野での賃上げなどが掲げられた。

日歯第205回定時代議員会

6月12日（木）、13日（金）日歯第205回定時代議員会が開催された。

①地区代表質問・個人質問

地区代表質問では、▽日歯生涯研修セミナーの現状に関して▽公的歯科健診におけるパノラマレントゲン撮影の導入とデジタルデータの集積システムとAI分析システムの開発について▽フッ化物洗口の地域での個人・家庭内レベルの浸透を▽総合的な会員歯科医療機関支援について▽糖尿病重症化予防における医科歯科連携の強化について▽歯科界における諸課題の解消に向けた施策の実施について▽JDAステッ

カーは会員の意識高揚と未入会員への強力なインセンティブ以上7題が提出された。

②予算決算特別委員会報告

決議事項（第1号議案：令和6年度貸借対表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書承認の件、第2号議案：理事選任の件、第3号議案：外部理事選任の件、第4号議案：監事選任の件、第5号議案：外部監事選任の件、第6号議案：役員報酬算定審議会委員承認の件、第7号議案：役員退職慰労金支給の件、第8号議案：裁定審議会委員の欠員補充承認の件、第9号議案：選挙管理委員会委員の欠員補充承認の件）のすべてが可決された。

令和7年度における地域医療介護総合確保基金

三重県では「三重県地域医療構想」、「第8次三重県医療計画」、「みえ高齢者元気・かがやきプラン」等に基づき、医療と介護の一層の連携を図りながら、急性期から回復期、在宅に至るまでの、地域ごとの効率的かつ質の高い医療提供体制の構築や地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組みを進めている。また、「三重県医師確保計画」に基づき、医師の総数の確保や偏在の解消に向けた取組みを進めるほか、看護職員の確保・定着に向けた取組みや介護未経験者、外国人材の参入促進等の介護人材の確保に向けた取組みを行うなど、課題となっている医療・介護分野の人材不足の解消に向けて、確保対策を進める。さらに、医療と介護の連携体制を推進し、高齢化の進展に伴って増え続ける認知症の早期発見・早期治療のための支援体制

の整備に取組みを進める。確保基金事業総括の医療分では新規事業8本、継続事業74本、介護分では新規事業が11本、継続事業が82本予算計上された。

第8次三重県医療計画の進捗状況

令和6年3月に「第8次三重県医療計画」をその他関連計画と一体的に策定。計画の進捗状況については毎年度ロジックモデル等を活用した評価を行い、各部会・医療審議会等に報告し、次年度以降の取組みの検討等を実施することとする。

地域医療構想の進捗状況

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、地域にふさわしいバランスのれた医療機能の分化・連携を適切に推進するために、平成29年3月に地域医療構想を策定した。これまで2025年における各医療機関の役割・機能別病床数に関する具体的対応方針について、繰り返し協議を行うとともに、地域医療介護総合確保基金を活用し、医療機能の分化・連携の取組みに対する支援を行ってきた。地域医療構想の背景である、高齢化の進展による疾病構造、病床の必要量、在宅医療需要等は、今後も各地域で大きく変化していく。国においては新たな地域医

療構想の大きな方向性を令和6年12月に取りまとめたところであり、都道府県においては令和8年度中に新たな構想を策定する予定である。このため、本県においては、7年度以降もバランスの取れた医療機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの推進等に向けた議論を継続しつつ、新たな地域医療構想の方向性で示された、85歳以上の高齢者救急及び在宅医療の需要の増加や、医療従事者の確保といった視点もふまえた議論を地域の関係者で行っていく。

医療法等の一部改正

高齢化に伴う医療ニーズの変化や人口減少を見据え、地域での良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を構築するため、地域医療構想の見直し等、医師偏在是正に向けた総合的な対策の実施、これらの基盤となる医療DXの推進のために必要な措置を講ずる。

第30回三重県歯科保健大会

令和7年11月16日（日）午後1時から、津市の三重県総合文化センター三重県文化会館中ホールにて開催される。10年毎の節目の記念大会となる。特別公演には、料理愛好家・シャッソン歌手の平野レミ氏をお招きする予定。

議事

- 第1号議案 令和6年度三重県歯科医師会会計決算の承認を求める件
- 第2号議案 収益事業部門に於ける令和6年度分税申告に関する件
- 第3号議案 歯科保健文化賞受賞者に関する件
- 第4号議案 理事・監事の選任に関する件
- 第5号議案 外部理事・外部監事の選任に関する件

前田専務理事から事業活動、管理部門、事業報告附属明細書についての会務報告を受けた後、議事に移り、上程された5議案すべてが可決された。令和6年度は、一般正味財産期末残高が期首に比べ861万円減の9億3,789万円であったことが報告された。また歯科保健文化賞受賞者候補は三重県立稲葉特別支援学校とされ、

歯・口の健康づくり事業を通し歯科衛生に関する各種事業を推進し、児童生徒、保護者及び教職員の意識向上に努め、口腔だけでなく生活全般にかかる取組みや、将来にわたって生きる力をつける指導に尽力された功績により、津歯科医師会より推薦された旨の報告があった。

（広報情報委員・前沢 宙 記）

会員のみなさま

先生方のための動画情報提供サイト “三重県歯科医師会 カフェテリアサイト”のご案内

本サイトでは会員の先生方が
欲しい情報を動画でご覧いただけます。

三重県歯科医師会 会員専用ページ
下部のバナーからお入りください



三重県歯科医師会 カフェテリア
先生方のための動画情報提供サイト

- ・ 三重県歯科医師会からのご案内
 - ・ 令和6年度診療報酬改定のお知らせ
 - ・ 医療機関経営情報
- などを動画でご覧いただけます。

三重県歯科医師会の会員専用ページの
バナーからお入りください



<https://www.dental-mie.or.jp/only/membertop.html>



お問合せ先

公益社団法人 三重県歯科医師会 (担当：竹仲)
〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目120-2 電話 059-227-6488

令和7年度

July

第6回理事会

令和7年7月3日（木）

三重県歯科医師会館

第2次稲本執行部始動

7月3日（木）、令和7年度第6回理事会が開かれた。稲本会長は挨拶の後、日歯や日学歯の新役員を紹介した。また日本歯科医学会、日本歯科医師会主催で、9月26日（金）～28日（日）にパシフィコ横浜で開催される第25回日本歯科医学会学術大会への参加登録を呼びかけた。前田専務理事は、東海信越地区の県歯、県下郡市歯等の新役員について紹介した。社会保障委員会は、「保険医療機関等の診療科別平均点数一覧表（歯科）」について報告。医療管理委員会は、令和7年度版「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」が出されたことを報告した。また、令和7年度BLSヘルスケアプロバイダーコースを10月19日（日）、令和7年度不当要求防止責任者講習を10月30日（木）に開催することを報告した。学術委員会は、令和7年度第1回学術研修会を9月7日（日）開催することを報告。講師に日本歯科大学名誉教授の小出 馨先生を県歯会館にお招きし、「咬合と顎関節をわかりやすく」と題してご講演いただく。公衆衛生委員会は、9月25日（木）に第11回歯科医師認知症対応力向上研修を、10月26日（日）に令和7年度地域口腔ケアステーション対応力向上研修を開催することを報告。また、七栗記念病院と伊勢赤十字病院で行われる、病院歯科における口腔ケア実施研修の日程等を説明した。全体協議では、8月24日（日）開催の三重県歯科医師会・郡市歯科医師会役員連絡協議会の内容や第30回三重県歯科保健大会、令和8年度県行政等に関する要望事項等について意見を交わした。

報告等

●三役報告

【稲本会長】日本歯科医師会新役員、日本学校歯科医会役員、日本歯科医学会第115回臨時評議委員会（6/6）【福森副会長】日本学校歯科医会生きる力を育む歯・口の健康づくり推進委員会（6/10）、東海口腔衛生学会常任幹事会（6/20）、令和7年度三重県学校保健会第1回理事会（Web）（6/27）【前田専務理事】第205回日歯時代議員会（6/12、13）

●社会保障委員会

【事業活動】社会保障委員会（6/12）、令和7年度歯科医療機関指導・監査等実施計画の打合せ（6/19）【報告事項】歯科矯正相談料の基本的な考え方、保険医療機関等の診療科別平均点数一覧表（歯科）、健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱いに関する疑義解釈資料の送付（周知）、「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」等の一部改正

●医療管理委員会

【事業活動】令和7年度歯科衛生士職業説明会（6/12）【出席会議】植村顧問税理士、小倉税理士打合せ、みえ犯罪被害者総合支援センター令和7年度定時総会（6/5）【報告事項】令和7年度版「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」、厚労省：令和7年度医療情報セキュリティ研修の実施、みえ8020推進ネットeラーニング「プロービング基本技術」、令和7年度税務調査アンケート、令和7年度BLSヘルスケアプロバイダーコース（10/19（日）開催）、令和7年度不当要求防止責任者講習（10/30（木）開催）、三重県：生産性向上・職場環境整備等支援事業補助金の交付申請、厚労省：「歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラム（例）令和7年度版」、三重県：令和6年度分の医療機関等における物価高騰対策支援金の申請受付期間延長、日本歯科医

師会会員向けキャッシュレスサービス「SB ペイメントサービス」、歯科相談 5 件

●学術委員会

【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報 (HP)、第 1 回学術研修会 (9 月 7 日 (日) 開催)

●公衆衛生委員会

【事業活動】三重テレビ「歯っぴーデー」出演 (6/5)、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診 (6/19)、第 12 回みえこどもの城キッズおしごと広場 (6/29) 【出席会議】令和 7 年度学校保健総合支援事業第 1 回協議会 (6/5)、令和 7 年度一般社団法人三重県訪問看護ステーション協議会定時社員総会・選定理事会 (6/29) 【報告事項】ママごはん 7 月号、小児在宅歯科医療体制整備協議会委員 (任期令和 7 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日)、三重県地域医療構想調整会議委員名簿、令和 7 年度地域口腔ケアステーション対応力向上研修、第 53 回産業医学講習会、病院歯科における口腔ケア実践研修の日程等、令和 7 年度 75 歳からのお口の健康チェックマニュアル等の送付、第 11 回歯科医師認知症対応力向上研修 【協議事項】令和 7 年度三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業、令和 7 年度フッ化物洗口推進事業実施施設、令和 7 年度みえ歯ートネット事業における歯科保健指導実施施設、令和 7 年度学校歯科保健先進地視察研修 (推薦校)、歯周病検診 2023 マニュアルに

準拠した検診票への移行

●広報情報委員会

【事業活動】『三歯会報』6・7 月号編集、メルマガ発行 (6/11、25)、MDA News、Sunshine Net (6 月掲載記事 69 件)、FM 三重『はぴはぴ子育て』、三重テレビ「歯っぴーデー」出演 【報告事項】三重テレビ高校野球インフォマーシャル動画、『三歯会報』7/17 常任委員会記事 【協議事項】「メルマガ」、Instagram「三重県歯科医師会公式アカウント」開設

●スポーツ歯科PT

【出席会議】第 7 回三重県アスレティックトレーナー研修会 (6/29)

●デジタルコンテンツPT

【事業活動】第 2 回デジタルコンテンツプロジェクト会議 (7/3) 【報告事項】カフェテリアサイト動画再生数データ (4/1～6/30)

●障害者歯科センター

【事業活動】センター診療実績 6 月診療分

●災害時対応・体制室

【報告事項】セコム登録状況 (7/2)、セコム安否確認訓練 (8/1)、日歯：令和 7 年度 JDAT 標準研修会、日歯：令和 7 年度 JDAT アドバンス研修会

●その他の報告

介護保険給付費審査会 (6/24)

協議事項

1. 三重県歯科医師会・郡市歯科医師会役員連絡協議会の開催について
2. 第 30 回三重県歯科保健大会のサブテーマについて
3. 第 31 回三重県歯科保健大会の開催地等について
4. 令和 8 年度県行政等に関する要望事項について
5. 会務並びに事業の運営について

議題

- 第 1 号：郡市会長会議招集並びに協議事項に関する件
- 第 2 号：第 34 回臨時議員会の招集並びに附議事項に関する件
- 第 3 号：前任役員・代議員等の表彰
- 第 4 号：前任委員への記念品の贈呈
- 第 5 号：医療事故処理委員会委員の選任
- 第 6 号：日本歯周病学会 第 5 回中部地区臨床研修会後援名義使用 (10 月 5 日開催予定)
- 第 7 号：入会申請 / 水越堅詞 (桑員)
- 第 8 号：互助会入会申請
- 第 9 号：互助会給付 (6/5～7/2 申請分)

県歯常任委員会も新体制で始動

令和7年7月17日（木）

三重県歯科医師会館



7月17日（木）、第二次稲本執行部の下で6つの常任委員会が一斉に招集された。委員会に先立って開かれた全体会議では、約30名の委員が集まった。冒頭の挨拶に立った稲本会長は、新委員からの会員目線に立った意見、以前からの委員の経験を活かした意見の両方が必要であると述べ、積極的に意見発信するよう求めた。前田専務理事からは、県歯の事業機構等についての説明があり、その後、県歯会館内の各会議室等に分かれて委員会を開催。稲本会長がそれぞれの会場を廻り、一人ひとりに委嘱状を手渡した。委員会では役員から事業内容の説明や報告が行われた他、今後の活動について意見交換が行われた。

公衆衛生委員会

常務理事	伊 東 学	（四日市）
理 事	新 達 也	（伊 賀）
理 事	大 元 秀 一	（伊勢地区）
理 事	田 中 一 生	（鈴 鹿）
委 員 長	松 本 卓 也	（伊 賀）
副委員長	西 川 徹	（松阪地区）
委 員	小 川 周 輔	（桑 員）

委 員	内 藤 淳	（四日市）
〃	鈴 木 智 子	（鈴 鹿）
〃	岡 知 道	（亀 山）
〃	美 濃 明 希	（ 津 ）
〃	田 所 晋	（伊勢地区）
〃	中 井 一 尊	（尾 鷲）



公衆衛生委員会は伊東常務の統括の下、再任の新理事、大元理事、田中理事の前期同様の顔ぶれになった。本委員会はすべてのライフステージに応じた歯科疾患予防事業等、様々な歯科保健事業を担っており児童虐待防止事業や地域住民に対する啓発事業等、委員が実際に現場において県民と接する場面も多い。常任委員には前期まで各郡市歯から1名ずつ招集していたが今期から2名減員することとなった。委員長に松本委員（伊賀）、副委員長に西川委員（松阪地区）を配し、再任の4名と新任の5名の9名構成になった。また公衆衛生委員会は、8020 運動推進特別事業や地域口腔ケアステーション機能充実事業における高齢者口腔機能向上事業、医科歯科連携事業、障がい者歯科保健推進事業、口腔機能維持に向けた生涯をとおした歯科疾患予防事業等、事業は多岐にわたり、他の委員会とも緊密な連携を維持しながら事業を推進していく。

社会保障委員会

常務理事	鳴 神 茂 幹 （ 鈴 鹿 ）	委 員	堀 佑 輔 （ 亀 山 ）
理 事	西 本 康 助 （ 津 ）	〃	山 口 晋 司 （ 津 ）
理 事	中 川 貴 晴 （ 伊 賀 ）	〃	村 田 幸 一 朗 （ 松阪地区 ）
理 事 (外部)	伊 藤 裕 之 （ 亀 山 ）	〃	山 中 寛 貴 （ 伊勢地区 ）
委 員 長	辻 村 政 次 郎 （ 伊 賀 ）	〃	山 本 英 志 （ 鳥羽志摩 ）
副委員長	坂 野 雅 洋 （ 四日市 ）	〃	東 千 尋 （ 尾 鷲 ）
委 員	齋 藤 拓 実 （ 桑 員 ）	〃	小 山 悠 （ 南 紀 ）
〃	的 場 章 弘 （ 鈴 鹿 ）		



社会保障委員会は、鳴神常務理事が実務の中心となり西本理事、中川理事、新たに県歯理事となった伊藤理事を加えた新体制で会務に当たる。今期も全郡市歯から社会保障委員として1名ずつ選出され、県歯と各郡市歯が連携を確保しやすい体制を維持している。また、委員長に辻村委員（伊賀）、副委員長に坂野委員（四日市）が選任された。会員が安心して保険診療に取り組み、診療報酬の請求で苦慮することのないよう、迅速かつ分かりやすい情報提供に努めていく。カフェテリアサイトにおける社会保険情報の提供に関する動画制作や、行政指導への対応、会員からの質問対応などについて、各郡市歯の委員に引き続き協力を依頼した。令和8年には診療報酬改定が予定されており、それに伴い「保険診療の手引 令和8年版」の製作が控えている。掲載内容のさらなる充実を図るため、委員会として意見交換を進めていく。

医療管理委員会

常務理事 桑名良尚（津）
 理事 大西薫児（松阪地区）
 理事 佐野乃里江（四日市）
 委員長 宮澤晋矢（桑員）

副委員長 廣岡卓哉（伊賀）
 委員 渡部新二（四日市）
 “ 小塚沙恵（津）



医療管理委員会は日歯医療管理委員会委員長も務める桑名常務理事の統括の下、前期と同じく理事に大西理事、佐野理事の2名が担当。委員は宮澤委員長、廣岡副委員長、小塚委員、新たに四日市の渡部委員が加わっての4名体制となる。日々アップデートされる医療安全情報、オンライン資格確認、医療広告規制、また全会員に関わってくる立入検査対策情報、医療相談、税務、コ・デンタルスタッフの需給問題等多岐にわたる事業を担当する。Covid-19 対応は5類となり落ち着いたが、また新たな新興感染症の発生が生じた場合の対応等と、突如として重責を担うこともある。より多くの情報収集を常に行い、全会員に周知できるよう努めていく。

福祉厚生委員会

常務理事 桑名良尚（津）
 理事 佐野乃里江（四日市）
 委員長 別所史博（津）

副委員長 畑中啓吾（松阪地区）
 委員 大矢恭太郎（伊賀）



福祉厚生委員会は桑名常務理事（医療管理と兼任）が統括し、理事には2期目の佐野理事（医療管理と兼任）が担当。委員には委員長として別所委員が再任、副委員長として畑中委員（新任）、大矢委員（新任）の3名体制となった。当委員会では会員の互助会事業やコ・デンタルスタッフを含めた福祉厚生事業の充実と円滑な活用を図る役割を担っている。協同組合・エムデイとも連携し、歯科医師及びスタッフ向けの各種保険等も取り扱い、それらを会員に紹介していくことも努めていきたい。また、終身会員の交流の場である睦寿会も担当する等、会員同士の親睦を深める役割も担う。

学術委員会

常務理事 伊藤 法彦（松阪地区）
 理事 加藤 直輝（伊勢地区）
 理事 重盛 登世（四日市）
 委員長 村田 賢司（松阪地区）

副委員長 市川 貴也（桑 員）
 委員 木村 貴之（四日市）
 “ 中嶋 正明（津）



学術委員会は伊藤常務理事が統括し、4期目の加藤理事、2期目の重盛理事の3人体制で会務に当たる。委員には前期に引き続き村田委員、市川委員に加え、新任の木村委員、中嶋委員が加わり4名体制となった。委員会では、報告として令和7年度の年間事業計画の基本方針と年間スケジュールを説明。

協議事項では、委員長、副委員長の選任、三齒会報の研修会記事の分担を決め、次年度の学術研修会の講師選定方法などについて意見交換を行った。

広報情報委員会

常務理事 伊藤 法彦（松阪地区）
 理事 加藤 直輝（伊勢地区）
 理事 重盛 登世（四日市）
 委員長 深津 雄己（四日市）

副委員長 北川 郁子（津）
 “ 神原 亮（鈴鹿）
 “ 小村 国大（松阪地区）
 “ 前沢 宙（伊賀）



伊藤常務理事（学術と兼任）が統括する広報情報委員会は、4期目の加藤理事、2期目の重盛理事（学術と兼任）が担当する。委員は3期目の深津委員に加え、2期目の北川委員、神原委員、小村委員、前沢委員の5名体制で運営する。「三齒会報」作成のために郡市長会議や代議員会の取材に入ることもあり、会務全体の動きを把握することができるのがこの委員会の特徴。県歯の役割を会の内外に周知できるよう努める。

令和7年度三重県警察歯科医会定期総会／三重県警察医研修会

令和7年7月27日（日） プラザ洞津



7月27日（日）、令和7年度三重県警察歯科医会定期総会・三重県警察医研修会がプラザ洞津で開催された。

定期総会では、三重県警察歯科医会・前田圭司会長、三重県歯科医師会・稲本良則会長、三重県警察本部・柳生裕也刑事部長の挨拶の後、令和6年度事業、令和6年度歳入歳出状況及び監査について報告。議事では、令和7年度予算、同事業計画等が審議され、いずれも原案通り可決された。



警察歯科医会の総会終了後には、同会場で医科の警察医も加わって三重県警察医研修会が開かれた。冒頭、三重県警察本部・敦澤洋司本部長、三重県医・馬岡 晋会長、三重県歯・稲本会長が挨拶。

研修では、はじめに三重県警察本部刑事部捜査

第一課・葛輪周平検視官室長が「三重県における検視・検案の現状」と題して講演。はじめに三重県警の死体取扱い状況、警察医の活動状況について説明され、令和6年の死体取扱い件数は2,892件で過去最多であり、このうち身元不明遺体の歯牙鑑定による特定が58件であったと報告された。そのほか各種研修会の報告、事例報告を行い、参加者と意見交換を行った。



その後行われた特別講演では、関西医科大学法医学講座助教・眞鍋 翔氏が「DNA鑑定の結果をどう解釈する？～尤度比とベイズの定理から理解する検査結果の解釈～」と題して講演。犯罪捜査におけるDNA鑑定の結果は、裁判で扱われるため客観性が求められることを述べ、身元確認におけるDNA鑑定においても原則として同じ考えであると説明された。そしてDNA鑑定の専門家の役割は、尤度比を出すことであると強調された。尤度比とベイズの定理を理解することは、医療における病気の診断や、法医学解剖における死因の特定にも通じるものがあるため、様々な事例をもとに具体的に計算式を立てて解説し、それぞれの確率について詳述された。

（常務理事・伊藤法彦 記）



6月・7月会務日誌

6月

- | | |
|--|---|
| <p>3日 常務理事会開催
三重県エイズ治療拠点病院連絡会議に前田専務理事、桑名常務理事出席（Web）</p> <p>4日 日本歯科医師会第5回医療管理委員会に桑名常務理事出席
日本歯科医師会第13回広報委員会に加藤理事出席</p> <p>5日 第3回理事会、第10回スポーツ歯科プロジェクト会議、新審査員オリエンテーション開催
学校保健総合支援事業第1回協議会に伊東常務理事出席</p> <p>6日 日本歯科医学会第115回臨時評議員会に稲本会長出席（Web）</p> <p>12日 令和7年度歯科衛生士職業説明会、第1回社会保障委員会開催</p> <p>12・13日 日本歯科医師会第205回定時代議員会に稲本会長、前田専務理事出席</p> <p>15日 伊賀歯科医師会総会に稲本会長、新理事、中川理事出席</p> <p>17日 みえ犯罪被害者総合支援センター令和7年</p> | <p>度定時総会に桑名常務理事出席</p> <p>18日 日本学校歯科医会第113回定時代議員会に稲本会長出席</p> <p>19日 議事運営特別委員会開催
三重県救急医療情報センター第14回定時評議員会に稲本会長出席
三重県健康管理事業センター評議員会に稲本会長、服部副会長出席</p> <p>20日 東海口腔衛生学会第1回常任幹事会に福森副会長出席（Web）</p> <p>22日 第33回定時代議員会開催</p> <p>26日 常務理事会、第5回理事会開催</p> <p>27日 三重県学校保健会令和7年度第1回理事会に福森副会長出席（Web）</p> <p>29日 第12回みえこどもの城キッズおしごと広場参加
一般社団法人三重県訪問看護ステーション協議会定時社員総会・選定理事会に新理事出席
第7回三重県アスレティックトレーナー研修会にて新理事講演</p> |
|--|---|





7月

- 3日 第6回理事会、第2回デジタルコンテンツプロジェクト会議開催
第1回三重県保険者協議会企画調査部に西本理事出席（Web）
- 6日 第1回三重県感染対策支援ネットワーク研修会に桑名常務理事、大西理事、佐野理事出席
- 14日 三重県警察官友の会理事会に前田専務理事出席
- 17日 委員会全体会議、各委員会開催
- 19日 東海信越地区歯科医師会第1回専務理事連絡協議会が愛知県で開催され前田専務理事出席
特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・三重第3回理事会に伊東常務理事出席
- 19・20日 第66回日本歯科医療管理学会総会・学術大会が沖縄県で開催され桑名常務理事、大西理事、佐野理事出席
- 22日 社保・国保審査委員会（歯科）歯科医師会連絡協議会開催
- 24日 第18回みえ歯ートネット運営協議会、食支援担当者会議、フッ化物応用研修会、フッ化物洗口推進事業説明会開催
- 25日 第1回三重県保険者協議会に川瀬副会長出席（Web）
- 26・27日 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会（スポーツ歯科医学Ⅰ）が東京都で開催され重盛理事、中川理事出席
- 31日 第2回郡市会長会議、第34回臨時代議員会、第3回デジタルコンテンツプロジェクト会議開催

顧問の交代について

植村公順税理士が本会顧問を退任されたことに伴い、小倉康彦税理士が第34回臨時代議員会にて顧問に委嘱されました。



お くら やす ひこ
小 倉 康 彦 先生

〒515-2305
三重県松阪市嬉野一志町 288-1
電話 090-3441-7341

<略歴>

昭和55年4月以後

津税務署、鈴鹿税務署、松阪税務署、伊勢税務署、名古屋中税務署、及び名古屋国税局に勤務（主に所得税事務に従事）

平成20年7月

伊勢税務署 総務課長

平成23年7月

四日市税務署 総務課長

平成24年7月

名古屋国税局課税第二部
津税務署派遣酒類業調整官

平成26年7月

津税務署筆頭副署長

平成28年7月

名古屋国税局課税第一部統括国税調査官

平成29年7月

名古屋国税局調査部調査第五部門統括国税調査官

平成30年7月

名古屋国税局課税第一部資料調査第一課長

令和 2年7月

津税務署長

令和 4年7月

現住所（松阪市）で開業



会員消息

Member's News

本会会員数 (8月1日現在)

正会員第1種 (一般)	652名
正会員第2種 (勤務)	32名
正会員終身	125名
準会員第3種 (法人)	10名
準会員第4種 (直属)	2名
長期の疾病等の会員	1名
計	822名

日歯会員数 63,650名 (6月30日現在)

謹んでおくやみ申し上げます



濱口五也先生 (松阪地区)

去る7月6日、お亡くなりになりました。

享年83歳



内原 守先生 (津)

去る7月8日、お亡くなりになりました。

享年90歳



谷口八起先生 (鳥羽志摩)

去る7月27日、お亡くなりになりました。

享年61歳

新入会員



みずこしけんし
水越堅詞先生 (7.1付)
(診) 桑名市大橋通り1丁目
346-1
水越歯科医院
電 話 0594-23-2118
FAX 同 上
(桑員)

診療所廃止

戸田喜之先生 (津)



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

みずこしけん し

水越堅詞先生（桑員）

1. 学歴

高校 私立海星高等学校

大学 朝日大学（2006 年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

2007 年 4 月 朝日大学 研修医

2008 年 4 月 朝日大学 大学院入学（歯周病学講座）

2012 年 4 月 朝日大学 助教採用（薬理学講座）

2017 年 4 月 丸の内歯科（岐阜羽島）

2022 年 4 月 水越歯科

3. メッセージ

はじめまして。この度、三重県歯科医師会に入会させていただくことになりました水越堅詞と申

します。

大学卒業後は大学勤務（歯周病学講座、薬理学講座）、岐阜県の開業医の先生の下で勉強させていただきました。2022 年 4 月に地元である桑名に戻り、現在は父とともに診療を行っております。父が積み重ねてきた患者様との信頼関係を崩さぬように心掛け、今まで以上に地域医療に貢献できるよう日々精進しております。

休日は釣りに出かけたりコーヒーを飲みながらゆっくり過ごしリフレッシュしております。今後は趣味である釣りを通じて様々な先生方と交流を持たせていただければと思っております。

未熟な点多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会無料職業紹介所のホームページに
ぜひご登録をお願いいたします。



◆無料職業紹介所ホームページ◆

<https://kyujin.dental-mie.jp/>



※県歯ホームページからもアクセスできます。

公益社団法人 三重県歯科医師会

歯科医療技術者無料職業紹介所

〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2 Tel.059-227-6480



告知板

Information

中部歯内療法学会 第18回 学術大会のご案内

テーマ：診断から充填まで各ステップを見直そう

日 時：9月21日（日）10：00～16：00

会 場：愛知県産業労働センター
（ウイंकあいち）901 会議室（9 階）
名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

一般口演① 井口皓一郎 先生（愛知学院大学歯内治療学講座）

一般口演② 伊藤 友見 先生（朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野）

講 演 ① 井野 泰伸 先生（愛知県開業）

講 演 ② 田中 雅士 先生（朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野）

講 演 ③ 吉岡 隆知 先生（東京都開業）

参 加 費：一般 8,000 円（当日申込のみ、事前登録はありません）

研修医・学生は無料（研修医証、学生証をご持参ください）

問 合 せ：事務局 松永健嗣

TEL：076-262-28444

Mail: ken.ken.ken.@mac.com



愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部 2025年度 秋季学術講演会

平素は同窓会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。
この度、三重県支部同窓会活動の事業として秋の学術講演会を行うことになりました。
今回の講師は津市開業43回生の小林周一郎先生をお招きし、愛知学院大学歯学部歯周病学講座での再生医療に関する研究成果を発表していただきます。これからの臨床にも何かしらのヒントになるものがあると確信しております。お忙しいとは思いますが何卒ご参加の程よろしくお願い致します。

愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部 支部長 鯉江 正人



日時：2025年10月9日（木）10:00～12:00

会場：三重県歯科医師会館 1階 教育センター

講師：小林 周一郎 先生 （三重県津市開業）

※日歯生涯研修単位取得対象 研修コード 2 5 0 4 4 単位

演題 私のコツコツ歯槽骨再生の研究 ～大学と留学と臨床に向けて～

< ご略歴 >

平成21年3月 愛知学院大学歯学部 卒業
平成22年3月 愛知学院大学歯学部附属病院 臨床研修医 修了
平成22年4月 愛知学院大学大学院歯学研究科 入学
平成25年7月 Brigham & Women's Hospital research trainee (～H26.6)
平成26年3月 愛知学院大学大学院歯学研究科 修了
平成26年5月 愛知学院大学歯学部歯周病学講座・歯科理工学講座 非常勤助教・講師
平成29年5月 東海記念病院歯科勤務 その他愛知県、三重県歯科医院勤務
平成31年4月 ブリティッシュコロンビア大学歯学部 博士研究員 (～R4.1)
令和4年4月 愛知学院大学歯学部歯周病学講座・歯科理工学講座 非常勤講師
令和6年6月 小林歯科医院勤務

小林先生より ご講演内容について

組織再生においては細胞・足場・シグナル分子の組み合わせ、いわゆる”Tissue engineering”の概念が応用されている。足場として可視光でゲル化するハイドロゲルを開発し、骨芽細胞を含有することで、より早期に骨再生が起こることを発見した。さらに、シグナル分子として細胞外小胞による骨再生の促進、および血液由来多血小板フィブリンが創傷治癒に与える効果について解説する。また、これらの因子と臨床との関係についてお話ししたい。

参加資格：歯科医師（他大学の先生も参加可能）

申込方法：不要

参加費用：無料

問合せ先：井上博（32回生） dc-himawari@cup.ocn.ne.jp まで

主催：愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部



互助会の現況

(令和7年6月1日～30日)

第1部 (疾病共済)

入会	0名	退会	0名	累計	656名
収入累計	192,231,043円	繰越 入金		192,227,293円	3,750円
支出	1,560,000円				
残高	190,671,043円	定期 普通 国債		148,000,000円	42,671,043円
					0円

療養給付：3名

死亡給付：1名

第2部 (火災・災害共済)

入会	0名	退会	0名	累計	656名
収入累計	179,099,401円	繰越 入金		179,099,401円	0円
支出	0円				
残高	179,099,401円	定期 普通		110,690,000円	68,409,401円

災害給付：0名

(令和7年7月1日～31日)

第1部 (疾病共済)

入会	1名	退会	1名	累計	656名
収入累計	190,671,043円	繰越 入金		190,671,043円	0円
支出	360,000円				
残高	190,311,043円	定期 普通 国債		148,000,000円	42,311,043円
					0円

療養給付：2名

死亡給付：0名

第2部 (火災・災害共済)

入会	1名	退会	1名	累計	656名
収入累計	179,099,401円	繰越 入金		179,099,401円	0円
支出	0円				
残高	179,099,401円	定期 普通		110,690,000円	68,409,401円

災害給付：0名

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込みください。

三重県歯科医師会協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

<http://www.dental-mie.or.jp/only/kyoudoukumiai/>

歯科経理帳	(12か月分)	970円
収支日計表	(100枚綴)	640円
患者日計表	(100枚綴)	640円
領収書(明細書式)	(100枚綴)	480円
その他、保険診療情報提供文書各種等		

中井理事長勇退に伴い前田執行部が発足

国保組合：理事長に前田和賢氏、副理事長に福森哲也氏が就任



前田和賢理事長



福森哲也副理事長

役員名簿

役 職	氏 名	
理 事 長	前 田 和 賢	(津)
副理事長	福 森 哲 也	(津)
常務理事	熊 谷 涉	(伊勢度会)
常務理事	伊 藤 法 彦	(松 阪)
理 事	今 村 芳 義	(四日市)
理 事	新 達 也	(伊 賀)
監 事	宮 田 保	(桑 員)
監 事	永 田 健 一	(四日市)

任期満了に伴う三重県歯科医師国保組合の役員改選では、4期8年にわたって理事長を務めた中井孝佳氏が勇退し、新たに前田和賢氏を理事長とした執行部が発足した。副理事長には福森哲也氏が就任した。

協同組合：理事長に前田和賢氏、副理事長に福森哲也氏と熊谷 渉氏が就任



前田和賢理事長



福森哲也副理事長



熊谷 渉副理事長

役員名簿

役 職	氏 名	
理 事 長	前 田 和 賢	(津)
副理事長	福 森 哲 也	(津)
副理事長	熊 谷 涉	(伊勢度会)
専務理事	桑 名 良 尚	(津)
常務理事	遠 藤 直 樹	(伊 賀)
理 事	今 村 芳 義	(四日市)
理 事	鳴 神 茂 幹	(鈴 鹿)
理 事	大 西 薫 児	(松 阪)
理 事	加 藤 直 輝	(伊勢度会)
監 事	宮 田 保	(桑 員)
監 事	永 田 健 一	(四日市)

三重県歯科医師国保組合の役員改選においても中井孝佳氏が勇退。国保組合と同じく前田和賢氏が後継の理事長に就任し、引き続き両組合の協調が図られることとなった。副理事長は福森哲也氏と熊谷 渉氏が就任。専務理事は桑名良尚氏が務める。

国保組合：第 159 回臨時組合会



6月22日（日）、三齒国保組合の第159回臨時組合会が開かれた。中井理事長の挨拶の後、福森副理事長より令和6年度事業実績報告について報告。その後宮田監事より令和6年度事務監査結果

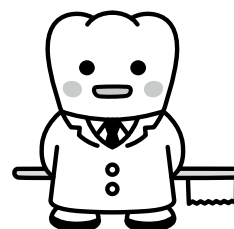
について報告があり承認された。議事では▽規約一部改正に関する件、▽令和6年度歳入歳出決算並びに財産目録の承認を求める件▽令和6年度歳入歳出決算残高処分に関する件—についての議案が承認された。役員改選に関する件では、4期8年務めた中井理事長は6月末で退任となり、新しい理事長として前田和賢氏を選任。他の役員については前田新理事長に一任され、福森哲也氏を副理事長としたほか、2名の常務理事と2名の理事が再任された。監事は立候補により現職の宮田保氏（桑員）と永田健一氏（四日市）がともに再任された。

協同組合：第 108 回通常総代会



6月22日（日）、三齒協同組合第108回通常総代会が開かれた。中井理事長の挨拶の後、前田副理事長より、協同組合の令和6年度事業報告と令

和6年度株式会社エムディ決算報告について報告。議事に移り、▽令和6年度決算関係書類承認▽令和6年度労働保険事務組合特別会計決算関係書類承認並びに剰余金処分▽令和6年度剰余金処分▽役員改選—について審議され、いずれも承認された。役員改選に当たっては中井理事長が勇退の意向を表明し、後継に前田和賢氏（津）を推薦したところ、満場一致で承認。その他の理事については前田氏に一任され、8名を選任。監事は立候補により現職の宮田保氏（桑員）と永田健一氏（四日市）がともに再任された。



国保組合の現況

令和7年4月／令和7年5月

保険給付状況

令和7年4月

		件数	費用額	保険者負担額 (金額)
療 給 費	当月分	4,391	66,968,746	47,317,797
	累 計	4,391	66,968,746	47,317,797
療 養 費	当月分	114		381,857
	累 計	114		381,857
高 療 費	当月分	62		8,199,007
	累 計	62		8,199,007
移 送 費	当月分	—		—
	累 計	—		—
出産育児 一時金	当月分	5		2,500,000
	累 計	5		2,500,000
葬 祭 費	当月分	1		150,000
	累 計	1		150,000
食事療養 標準負担額 減額差額	当月分	—		—
	累 計	—		—
傷 病 手当金	当月分	21		619,000
	累 計	21		619,000

令和7年5月

		件数	費用額	保険者負担額 (金額)
療 給 費	当月分	4,315	65,007,014	46,183,897
	累 計	8,706	131,975,760	93,501,694
療 養 費	当月分	111		345,253
	累 計	225		727,110
高 療 費	当月分	44		3,417,193
	累 計	106		11,616,200
移 送 費	当月分	—		—
	累 計	—		—
出産育児 一時金	当月分	10		5,000,000
	累 計	15		7,500,000
葬 祭 費	当月分	1		100,000
	累 計	2		250,000
食事療養 標準負担額 減額差額	当月分	2		1,040
	累 計	2		1,040
傷 病 手当金	当月分	24		980,000
	累 計	45		1,599,000

収支状況

令和7年度令和7年5月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	171,674,257
歳 出 合 計	75,748,906
収 支 差 引 残	95,925,351

令和7年度令和7年6月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	727,381,807
歳 出 合 計	200,897,690
収 支 差 引 残	526,484,117

令和6年度令和7年5月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	1,769,605,155
歳 出 合 計	1,324,497,124
収 支 差 引 残	445,108,031

被保険者異動状況

令和7年6月30日現在

区 分	被保険者数	前月との比較
組 合 員	2,966	14
家 族	1,230	△ 6
計	4,196	8

令和7年7月31日現在

区 分	被保険者数	前月との比較
組 合 員	2,949	△ 17
家 族	1,221	△ 9
計	4,170	△ 26

編集後記

Editor's Note

第2次稲本執行部が発足され一か月余りが経ちました。昨年新規事業としてスタートしたカフェテリアサイトでは県歯会常任委員会から多くの動画が作成され、随時配信されました。文章のみでの情報提供に比べて、動画の場合は視覚と聴覚の両方から情報を得られ、より深く理解でき、記憶に残りやすいと言われています。また、カフェテリアサイトだけでなく県歯会ホームページにも県民向けの歯科啓発動画を挙げ、視聴できるようにしております。これらは新執行部でも引き続き

行っていく予定です。

県歯会ではカフェテリアサイトだけでなく、なるべくリアルタイムで有益な情報が入手できるように、LINE、メールマガジン、サンシャインネットにて情報提供しております。特にLINEは国や県からの通知、日歯からの文書、さらには県歯会の事業等の情報をいち早く発信しております。LINEが未登録の先生はぜひこの機会にご登録ください。

(広報情報担当常務理事・伊藤法彦 記)

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための「相互扶助」の金融機関です。

日頃のご愛顧に感謝し好評発売中！



歯科医師応援ファンド

当初4年間 0.90% (固定)、5年目以降 変動金利
5千万円まで、最長20年 (1千万円以下は10年)

教育ローン<スマート>

1.50%～ 2千万円まで 15年以内
歯・医・薬学部 1.30%～
※2千万円超をご希望の場合はご連絡ください

マイカーローン<クイック>

1.50%～ 2千万円まで 15年以内

詳細はホームページを
ご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<https://www.iryoushin.com/>



愛知県医療信用組合

お気軽に
ご照会ください



〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目5番18号 愛知県歯科医師会館6階
TEL: (052) 962-9569 FAX: (052) 951-8651

三 歯 会 報

令和7年9月10日印刷 / 令和7年9月15日発行

発行所 / 〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目120-2 公益社団法人三重県歯科医師会

☎ 059-227-6488 / 発行人 / 稲本良則 / 編集 / 広報情報委員会 / 印刷 / 伊藤印刷株式会社
三重県歯科医師会公式ウェブサイト address <https://www.dental-mie.or.jp/>

三重県歯科医師会会員の皆さまへ

団体医師賠償責任保険のご案内

～歯科医院診療所の安定経営のために～



団体割引
20%適用

弁護士費用
訴訟費用も補償

※損保ジャパンの事前の
承認が必要です。

ご照会・ご連絡は

＜取扱代理店＞

株式会社 エムディ(三重県歯科医師会館1F)

〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2

TEL:059-227-6489

FAX:059-227-0510

＜引受保険会社＞

損害保険ジャパン株式会社

三重支店 法人支社

〒514-0004 津市栄町3-115

TEL:059-226-5161

FAX:059-226-5165



受け継ぐのは、人への思い。

私たちのはじめは130年以上前の明治時代。

「人々の暮らしや幸せをお守りしたい」

この創業の思いが、原点であり原動力です。

これからも、すべての人々の幸せとより良い社会の実現に向け、

私たちは挑み続けます。



東京の街を守るため結成された
私設消防団「東京火災消防組」(1888年)



損保ジャパンの
ブランドストーリーは
こちら▶



損保ジャパン

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<https://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Adverl SH

進化した「やさしい治療」

Er:YAGレーザーは、水を含んだ生体組織に対する蒸散能力が高く、表層にのみ反応が起こり、熱の発生が微小なため、痛みが少ないという特徴を持つ、人にやさしいレーザーです。

アドベールSHは治療に必要な機能をコンパクトなボディに集約したEr:YAGレーザー装置です。高パルス、高出力に加え、治療をナビゲートするプリセットモードで、さまざまな治療シーンに対応できます。



発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
製造販売 株式会社 **モリタ製作所** 本社: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 販売名: アドベールSH 一般的名称: エルビウム・ヤグレーザ 機器の分類: 高度管理医療機器(クラスⅢ)
特定保守管理医療機器 承認番号: 30500BZX00080000 販売名: レザチップ 一般的名称: レーザ用コンタクトチップ 機器の分類: 高度管理医療機器(クラスⅢ) 承認番号: 21500BZZ00721000
お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール)

製品紹介ページ

